

令和2年12月28日

京丹後市長 中山 泰 様

京丹後市庁舎整備検討委員会
委員長 行 待 佳 平

答 申 書

令和2年8月26日付け2政策第949号により諮問のありました京丹後市役所本庁機能集約化基本方針に基づく庁舎整備・庁舎再配置に係る推進状況の検討、評価及び庁舎整備・庁舎再配置の今後のあり方について、本委員会で慎重かつ様々な観点から審議した結果、下記のとおり答申します。

記

1 はじめに

京丹後市は平成16（2004）年に6町が合併して誕生しました。市役所の位置は旧峰山町の庁舎に、その他、旧5町の庁舎は支所（市民局）に位置付けるとともに、大宮庁舎には農林水産部と教育委員会を、網野庁舎には商工観光部、建設部を配置し、「分庁舎方式」として行政運営を行っています。

平成24（2012）年頃から、「分庁舎方式」の今後のあり方として、本庁機能の集約化が審議会等（まちづくり委員会、行政評価委員会）から意見としてでてくるようになる中で、前中山市長時代の平成27年2月に「京丹後市役所本庁舎整備検討委員会条例」が議決され、本検討委員会が「本庁機能集約化基本方針」を答申。平成27年12月には「本庁舎整備事業基本計画の骨子」を策定し、現峰山庁舎前の防災倉庫に増築棟を建設し、大宮庁舎には教育委員会事務局のみを残し、他の本庁部局は峰山に集約することとして、基本設計まで完了しています。

平成28（2016）年5月に三崎市長が就任。9月に増築棟の実施設計は行わないことを表明、また、平成29年12月には、増築棟は建てないが本庁機能集約化基本方針の趣旨をくみ取り、旧丹波小学校を改修し福祉事務所を移転、現福祉事務所には商工観光部と建設部を配置し、大宮庁舎には農林水産部と教育委員会事務局に加え上下水道部を配置する、と表明されました。

平成30年7月には、基本設計業務が完了するものの、平成29年度に引き続き大雨による大規模な災害が発生。また、10月には京都府が想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表。平成31年2月、災害対応を優先すべきとして実施

設計業務に係る予算は減額し、着手していない状況にあります。

一方で、庁舎整備の財源となる合併特例債については、平成30年4月に延長され、令和6年度が活用期限となりました。合併特例債は集約化を図る場合に活用でき、実質的には起債対象額の33.5%の一般財源の持ち出しで、庁舎整備や庁舎改修を行うことができるものです。

以上のとおり、これまでの経過及び合併特例債の活用期限も踏まえ、慎重かつ様々な観点から審議を重ねました。

2 審議の経過

審議の経過は資料2のとおり延べ5回の審議を行いました。

- (1) 庁舎整備（A案）、庁舎再配置（B案）の評価を行うため、6つの評価項目を設定し、さらに中項目、小項目を設け、比較評価を行いました。（資料3）
- (2) この評価項目をもとに、アンケート方式で委員20人全員の考え方を取りまとめることとし、さらに、庁舎整備（A案）・庁舎再配置（B案）以外の考え方があればその他（C案）として意見を求めました。また、評価する上で重視する項目（1人3項目）についても意見を求めました。

3 審議の結果

庁舎整備（A案）、庁舎再配置（B案）の検討、評価及び今後のあり方について、両案に差がないとする評価が3割、庁舎整備（A案）を優位とする評価が半数、庁舎再配置（B案）を優位とする評価は少数であったため、庁舎整備（A案）を優位とします。

各評価項目に係る委員の評価は、資料4のとおりです。

なお、庁舎整備（A案）、庁舎再配置（B案）の評価を行った上で、今後のあり方について庁舎整備（A案）、庁舎再配置（B案）以外の案（C案）について意見を求めたところ、7人から意見が寄せられ、現状のままで当面集約化は見合わせるとした4人の意見はあったものの、その他のまとまった意見はありませんでした。

■ 庁舎整備（A案）、庁舎再配置（B案）以外の案（C案）について

現状のままで当面集約化は見合わせる … 4人

【意見要旨】

- 庁舎は現状の配置で十分持続可能である。特に不便なく、市民局での対応を充実すべき。本庁機能集約化は、行政組織の効率化がメインで、市民の利便性はあまり感じられない。下水道事業など重要案件に予算を重点投入し、庁舎整備は後回しでよい。
- コロナ禍の状況にあり、今後のことも含め集約化する時期ではない。ICTを整備し、密を避け、市民局窓口と本庁職員と対話等ができるようにす

る。将来的に庁舎を含めたまちづくりをする。

- 合併特例債の活用は賛成するが、コロナ禍では現状維持がよい。ICTを活用すれば集約型がベストではない。サーバー室等の重要施設は災害対策を十分に行い管理する必要がある。
- 分散した配置が時代にあっている。既存施設を活用し、どこでも仕事ができる、新しい働き方を実践してほしい。建物ではなくソフトにお金をかけるべき。

再検討すべき … 1人

【意見要旨】

- リスク対応、均衡ある発展の観点など、2つの計画案にこだわらず再検討すべき。新しく庁舎を検討する場合は、浸水のない場所を考えるべき。

本庁機能を今以上に分散配置すべき … 1人

【意見要旨】

- 丹後庁舎、ら・ぽーと、久美浜庁舎を加え、地域分散型行政を目指した方が、各町域の活性化につながる。将来の人口を踏まえた、職員数を予測すべきである。

京都府丹後広域振興局との合同庁舎を建てるべき … 1人

【意見要旨】

- 将来、人口減で令和の大合併も考えられる。合同庁舎で建築費の減、住民サービスの向上、事業者の仕事効率化が図られる。

4 附帯意見

本委員会での審議経過を踏まえ、庁舎整備で留意すべき事項等について、附帯意見として、次のとおり申し添えます。

- 市民の身近な窓口である市民局については、引き続き維持するとともに、市民局機能をより充実させ、市民サービスの向上を図ること。
- ICTなどの先端技術を活用した庁舎整備に配慮し、庁舎機能の充実を図ることで、市民サービスや事務効率を高めること。
- 多様化する福祉ニーズに対応し、横断的、包括的な支援体制の構築が図られるように部局を配置すること。
- 災害時においても庁舎機能を維持できるように、災害に備えた庁舎整備を行うこと。
- 職員駐車場の確保が遠方になる場合、そのデメリットが極力軽減されるように対処すること。

- 庁舎については、活用できる財源のあるうちに効率的に整備することで、今後のまちづくりを見据えた、子育て施設や図書館等の整備を含む都市拠点、また、市民局を中心とした地域拠点について、早期に整備・検討を進めること。
- 今後のまちづくりにつながるように、市民の活用や職員の働き方など議論を深め、ソフト面にも配慮した庁舎整備を行うこと。

5 おわりに

本委員会では、5回に渡り審議を重ねる中で、様々な観点から意見がありました。庁舎整備事業の実施に向けては、審議の結果のみならず、附帯意見等も留意しながら取り組まれることを望みます。

<添付資料>

- 資料1 京丹後市庁舎整備検討委員会委員名簿
- 資料2 審議経過
- 資料3 6つの評価項目
- 資料4 アンケート結果

京丹後市庁舎整備検討委員会 委員名簿

(敬称略)

分類	所属団体	役職	氏名	備考
区長会関係	峰山町区長会	会長	藤村 肇	
	大宮町区長協議会	会長	川口 勝彦	
	網野町区長連絡協議会	会長	井本 勝己	副委員長
	丹後町区長連絡協議会	会長	下岡 啓二郎	
	京丹後市区長連絡協議会（弥栄町区長連絡協議会）	会長	入江 範久	
	久美浜町区長連絡協議会	会長	森本 賢一郎	
商工観光関係	京丹後市商工会	会長	行待 佳平	委員長
	一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社 京丹後地域本部	地域本部長	齊藤 修司	
建設関係	京丹後建設業協会	会長	森 重敬	
農林水産業関係	京都府漁業協同組合	代表理事 副組合長	村岡 繁樹	
	丹後地区森林組合	代表理事 組合長	江浪 敏夫	
	京丹後市農業経営者会議	会長	野村 拓也	
社会福祉関係	京丹後市老人クラブ連合会	会長	森口 茂樹	
	社会福祉法人 京丹後市社会福祉協議会	会長	藤田 一彦	
社会教育・社会体育関係	京丹後市体育協会	会長	中村 基彦	
	京丹後市文化協会	会長	田崎 敬章	
その他公共的団体	京丹後市女性連絡協議会	会長	藤井 美枝子	副委員長
	一般社団法人 京丹後青年会議所	機会提供推進 副委員長	大西 啓代	
	一般社団法人 丹後暮らし探究舎	移住相談員	小林 朝子	
	京丹後市PTA協議会	家庭教育副委 員長	松本 純子	

アドバイザー

学識経験者	京都大学大学院 経営管理研究部、工学研究科都市社会工学専攻	准教授	大庭 哲治	
公共的団体	京都府丹後広域振興局 地域連携・振興部	部長	水嶋 式行	

審 議 経 過

区分	日時・場所	主な審議事項等
第 1 回	令和 2 年 8 月 2 6 日 (水) 京丹後市役所 205 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問 ・ これまでの庁舎整備及び庁舎再配置の経過について
第 2 回	令和 2 年 9 月 2 5 日 (金) 京丹後市役所 201～203 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎整備・庁舎再配置の推進状況の検討、評価について
—	令和 2 年 1 0 月 9 日 (金) 京丹後市役所 201～203 会議室 ※京丹後市総合計画審議会主催	<p><若者を対象としたワークショップ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「京丹後市役所本庁機能の集約化」について～まちづくりにおける市役所の役割～ ※ワークショップで意見聴取
—	令和 2 年 1 0 月 1 0 日 (土) 峰山総合福祉センター コミュニティホール ※京丹後市総合計画審議会主催	<p><女性を対象としたワークショップ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「京丹後市役所本庁機能の集約化」について～まちづくりにおける市役所の役割～ ※ワークショップで意見聴取
第 3 回	令和 2 年 1 0 月 2 2 日 (木) 京丹後市役所 205 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎整備・庁舎再配置の推進状況の検討、評価について ・ ワークショップ意見の紹介 ・ 庁舎整備検討資料について
第 4 回	令和 2 年 1 1 月 1 0 日 (火) 京丹後市役所 201～203 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎整備・庁舎再配置の推進状況の検討、評価について
第 5 回	令和 2 年 1 2 月 1 6 日 (水) 京丹後市役所 205 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎整備・庁舎再配置の推進状況の検討、評価について ・ 答申について

6つの評価項目

評価項目			庁舎整備（増築棟建設） ＜A案＞	庁舎再配置（旧丹波小の活用） ＜B案＞	備 考
大項目	中項目	小項目			
①災害対応	場所	想定浸水深 （24時間 雨量531 mm）	0.5～2m	3～5m	①峰山庁舎 0.5～2m ②峰山総合福祉センター 0.5 ～1m ③大宮庁舎 0～1m
		浸水深とそ の影響	・浸水深2mは、建物1階の半分まで浸水 ・浸水深0.5mは、人の膝上まで浸水	・浸水深5mは、建物2階床上40cm程 度まで浸水 ・浸水深3mは、建物1階の天井近くまで 浸水	京丹後市防災マップ
	建物	災害対策本 部会議の場 所	増築棟2階会議室 対策本部として使用する大会議室と仮眠室 を設置。	（現）峰山庁舎2階会議室	【災害対策本部の機能】災害情 報の一元的集約、迅速な意思決 定と災害警戒活動及び応急対策 活動等災害対策に関する業務全 般を統括
		水害への備 え	●増築棟 ・サーバー室は増築棟4階に移転 ・自家発電設備（72h稼働）は増築棟屋 上に設置 ●現・峰山庁舎 ・自家発電設備…敷地内 ・自家発電設備（オイルタンク一体型）の 嵩上げと改修	●現・峰山庁舎 ・サーバー室は（現）峰山庁舎1階 ・自家発電設備…敷地内 ・自家発電設備の嵩上げと地下オイルタン クの新設で72h稼働に改修 ●旧丹波小学校 建物2階の40cmまで浸水。福祉事務所 機能の建物としては不可	サーバー室はコンピューターの 心臓部が入っている部屋。 近年クラウド化（データを別の 場所で管理）により縮小傾向に あり。
		地震への備 え	耐震安全性の分類をI類（水平耐力の割り 増しを1.5倍）として整備 ※（現）峰山庁舎は1.0倍	—	国交省がH25に制定した「官 庁施設の総合耐震・対津波計画 基準」に基づく構造体の耐震安 全性確保による。

6つの評価項目

評価項目			庁舎整備（増築棟建設） ＜A案＞	庁舎再配置（旧丹波小の活用） ＜B案＞	備 考
大項目	中項目	小項目			
②市民の利便性	本庁機能	各庁舎に入る部局 （本庁機能の集約度）	<ul style="list-style-type: none"> ●峰山庁舎＋増築棟 議会、市長公室、総務、市民、医療、会計、監査、農林、商工、建設、上下水道、農業委員会 ●大宮庁舎 教育 ●峰山総合福祉センター 健康長寿 	<ul style="list-style-type: none"> ●峰山庁舎 議会、市長公室、総務、市民、医療、会計、監査 ●峰山総合福祉センター 商工、建設 ●大宮庁舎 農林、上下水道、教育、農業委員会 ●旧丹波小 健康長寿 	
		新たに付加される施設・設備等 （機能アップ度）	＜増築棟施設＞ 相談室（プライバシーに配慮）、談話コーナー、来賓用会議室、各階に多機能トイレを設置。 2階フロアは会議室を集約。ICT環境の整備等多くの市民が利用できる場を創出する。	—	
	市民局機能		従前どおり6市民局を設置するため利便性に影響なし	従前どおり6市民局を設置するため利便性に影響なし	
	市民にとって利用のしやすさ	市民	本庁機能が集約化されても、市民の来庁機会は少ないため影響は小さい。	本庁機能が集約化されても、市民の来庁機会は少ないため影響は小さい。	
		事業者	事業課は1カ所に集約。 1か所で用事が済み、仕事の効率化につながる面あり。	事業課は峰山と大宮の2カ所に集約	
		福祉団体等 （他の本庁機能との近さ・連携度）	福祉団体と関わりの深い健康長寿福祉部は峰山総合福祉センターに配置。 ※峰山庁舎（市民課、税務課、保険事業課等）が近接	福祉団体と関わりの深い健康長寿福祉部は旧丹波小に配置。 ※近接の庁舎なし	

6つの評価項目

評価項目			庁舎整備（増築棟建設） ＜A案＞	庁舎再配置（旧丹波小の活用） ＜B案＞	備 考	
大項目	中項目	小項目				
③交通アクセス	鉄道、バスの状況		<ul style="list-style-type: none"> ● 峰山庁舎+増築棟 峰山駅徒歩約15分、バス停：市役所前 ● 峰山総合福祉センター 峰山駅徒歩約15分、バス停：丹中病院前 ● 大宮庁舎 京丹後大宮駅徒歩約8分、バス停：大宮庁舎前 	<ul style="list-style-type: none"> ● 峰山庁舎 峰山駅徒歩約15分、バス停：市役所前 ● 峰山総合福祉センター 峰山駅徒歩約15分、バス停：丹中病院前 ● 大宮庁舎 京丹後大宮駅徒歩約8分、バス停：大宮庁舎前 ● 旧丹波小学校 峰山駅徒歩約9分、バス停：丹波 		
	来庁者用 駐車場	庁舎別台数	<ul style="list-style-type: none"> ● 峰山庁舎+増築棟 146台 ● 峰山総合福祉センター 62台 	<ul style="list-style-type: none"> ● 峰山庁舎 74台 ● 峰山総合福祉センター 54台 ● 旧丹波小学校 63台 ※グラウンドを整備 	●大宮庁舎 49台	
	職員用駐車場		庁舎別職員数	<ul style="list-style-type: none"> ● 峰山庁舎+増築棟293人 ● 峰山福祉センター97人 ● 大宮庁舎60人 (合計450人) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 峰山庁舎129人 ● 峰山福祉センター63人 ● 大宮庁舎161人 ● 旧丹波小97人 (合計450人) 	※人数は平成28年当時のもの。
	職員用駐車場		庁舎別台数 (公用車含む 場合あり)	<ul style="list-style-type: none"> ● 増築棟・峰山庁舎 旧吉原小グラウンド 180台 丹後文化会館駐車場 300台 ※庁舎前駐車場は来庁者用に開放 ● 大宮庁舎 152台 (大宮社会体育館、社協前含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 峰山庁舎 150台 ● 旧丹波小学校 104台 ※グラウンドを整備 ● 大宮庁舎 152台 (大宮社会体育館、社協前含む) ※上下水道部の移動により、別途、約60台(職員私用車+公用車)の駐車場が必要となるが、基本計画での計上なし。 	旧峰山幼稚園106台 ※令和元年度整備 福祉事務所の職員駐車場として利用。センター前は来庁者用として利用。

6つの評価項目

評価項目			庁舎整備（増築棟建設） ＜A案＞	庁舎再配置（旧丹波小の活用） ＜B案＞	備 考
大項目	中項目	小項目			
④行政の効率的な運営	組織にとっての効率性		①職員は、教育委員会と市民局を除き、峰山庁舎・増築棟、峰山福祉センターに集約化。 ②増築棟の執務室は、間仕切りをなくし将来の組織・機構の変更に柔軟に対応できるものとして整備。	①旧丹波小、大宮庁舎も最大限活用した集約化。 ②職員は、峰山庁舎、峰山福祉センター、大宮庁舎、旧丹波小学校に集約化。事業課は分散する。	
	地域経済に与える影響 (弁当を持参しない職員は1～2割)		●網野庁舎…商工観光部、建設部(63人) ●丹後庁舎…上下水道部(48人) ●大宮庁舎…農林水産部、農委(53人) →峰山庁舎164人増	●網野庁舎…商工観光部、建設部(63人) →峰山庁舎 ●丹後庁舎…上下水道部(48人) →大宮庁舎	A案=峰山庁舎164人増、B案=大宮庁舎48人増 ※大宮庁舎周辺は徒歩で行ける飲食店なし。
⑤資金計画	合併特例債の活用		R6年度までの活用が可能	R6年度までの活用が可能	
⑥整備費	本庁機能集約化に係る整備費		38.3億円(実質負担15.8億円) ※議員全員協議会後の追加・参考資料による(H30.8.22時点)。ICTなど庁舎機能の高度化に係る費用など、今後の基本設計により金額は異なります。	24.2億円(実質負担10.1億円) ※議員全員協議会後の追加・参考資料による(H30.8.22時点)。ICTなど庁舎機能の高度化に係る費用など、今後の基本設計により金額は異なります。	
	将来的な整備費		●峰山福祉センターの老朽化(あと9年で築65年)は、大宮庁舎もしくは増築棟の利用で対応できる可能性あり。	●峰山福祉センターの老朽化(あと9年で築65年)は、新たな(仮設)建物建築の必要性が出てくる可能性あり。 ●旧丹波小学校の老朽化(あと23年で築65年)は、新たな(仮設)建物建築の必要性が出てくる可能性あり。	

アンケート結果

	人数	うち、その他の案の人数				
		現状維持	再検討	分散配置	合同庁舎	A案
A案優位	10	1				
B案優位	2					
差なし	6	2	1	1	1	
評価できない	2	1				1
計	20	4	1	1	1	1

<集計の仕方> ※評価項目…20項目

各委員にA案とB案の評価を行っていただくため、評価項目ごとに、「A案優位」、「B案優位」、「差なし」、「評価できない」のどれかに評価をしていただいた。

委員ごとに集計を行った。その委員が4つの区分の中で一番多く評価した区分を、単純にその人の区分とした。

また、A案、B案以外に「その他の案」がある方は意見を出していただいた。

<結果>

各委員からの評価を委員ごとに集計した結果、最も多数となったのは「A案優位」で、10人の委員が評価の中でA案優位とした項目が最も多かった。

次に多かったのは「差なし」の6人であった。

このことから、委員会としての庁舎整備・庁舎再配置に係る評価は、A案優位が最も多かったこととなる。

また、委員全体の評価された項目の合計数についても、「A案優位」が最も多く、次ぎに多かったのは「差なし」であり、委員ごとの集計と結果は同じであった。

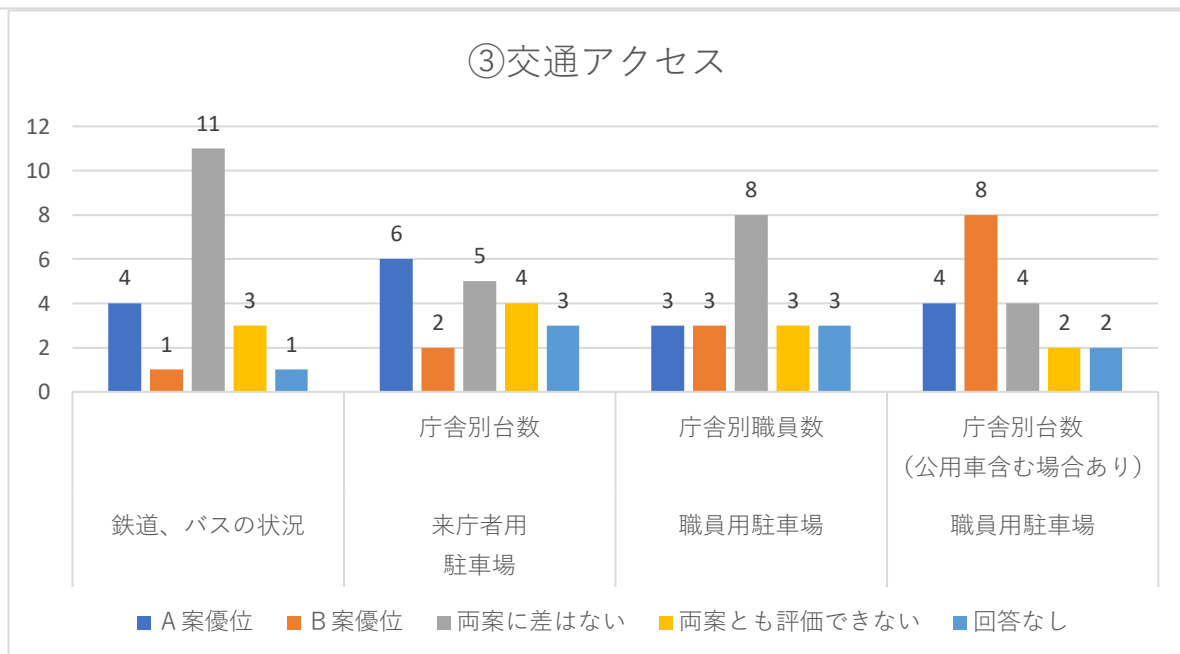
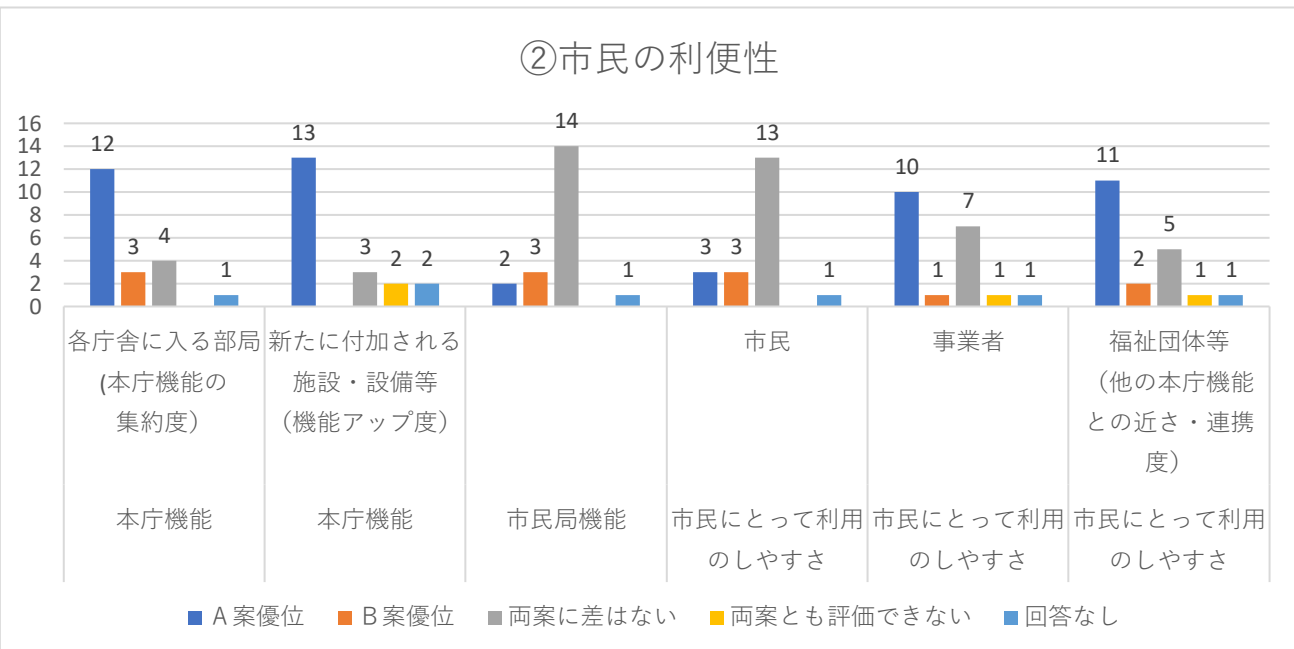
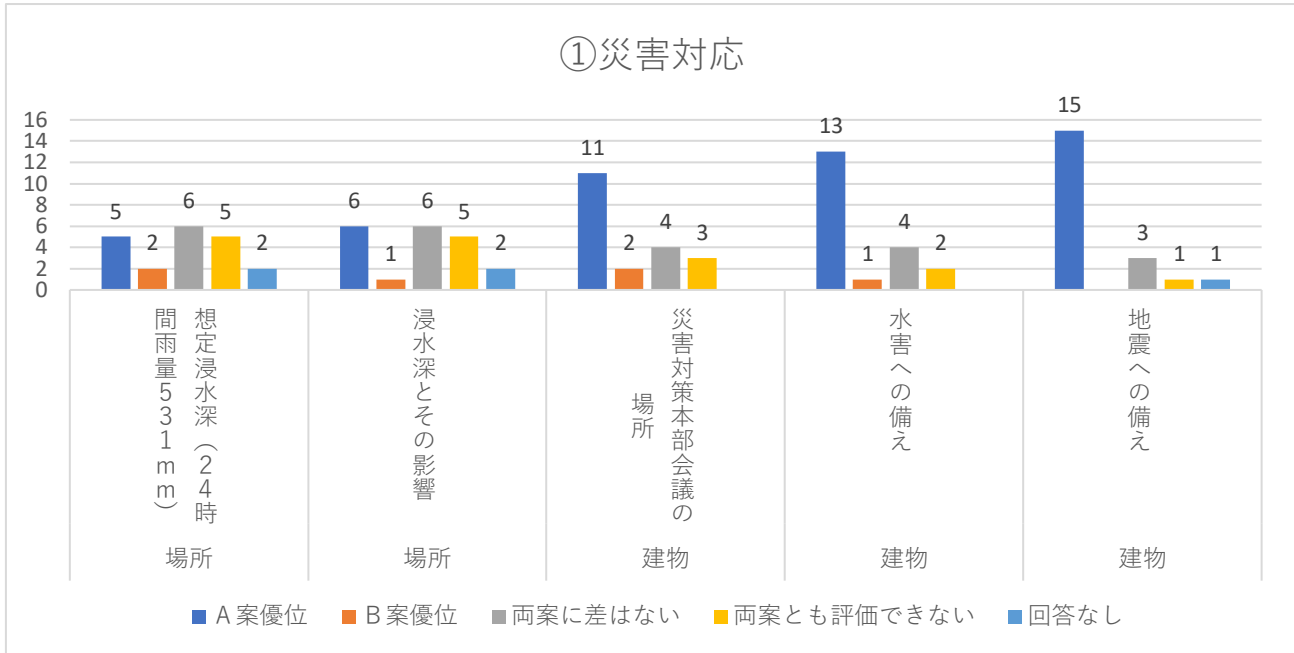
その他の案については、現状維持が4人、再検討が1人、分散配置が1人、府との合同庁舎が1人、A案が1人であった。

各委員の評価

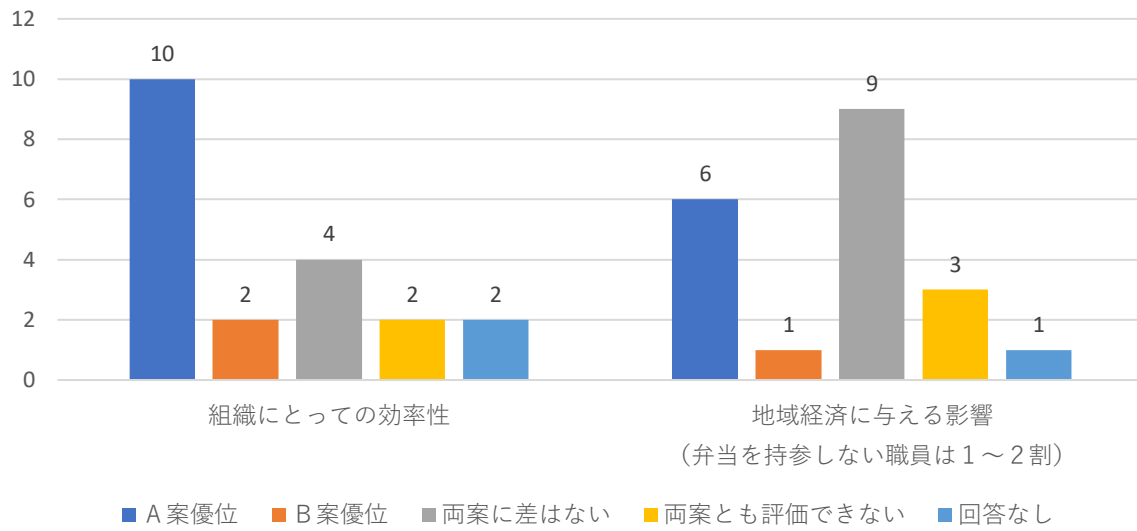
※委員ごとの集計結果（20項目）

委員	A案優位	B案優位	両案に差はない	両案とも評価できない	回答なし	計	A・B・差なし・評価できない	その他の案	意見要旨
1	14		3	3		20	A案優位		
2	2	4	8	6		20	差なし	現状維持	分散した配置が時代にあっている。既存施設を活用し、どこでも仕事ができる、新しい働き方を実践してほしい。建物ではなくソフトにお金をかけるべき。
3	13		6		1	20	A案優位		
4	3	3	7	4	3	20	差なし	府との合同庁舎	将来、人口減で令和の大合併も考えられる。合同庁舎で建築費の減、住民サービスの向上、事業者の仕事効率化が図られる。
5		13	5		2	20	B案優位		
6	10	1	5	1	3	20	A案優位	現状維持	合併特例債の活用は賛成するが、コロナ禍では現状維持がよい。ICTを活用すれば集約型がベストではない。サーバー室等の重要施設は災害対策を十分に行い管理する必要がある。
7	17		3			20	A案優位		
8	10	1	9			20	A案優位		
9	12	2	6			20	A案優位		
10	6	3	6	5		20	差なし	再検討	リスク対応、均衡ある発展の観点など、2つの計画案にこだわらず再検討すべき。新しく庁舎を検討する場合は、浸水のない場所を考えるべき。A案は職員駐車場が遠い。
11	5	1	12	1	1	20	差なし		
12	13	1	6			20	A案優位		
13	17		3			20	A案優位		増築棟による集約化と既存庁舎全体の機能を総合的に充実。福祉関係団体の拠点整備。市民局機能の充実。住民自治と市民協働を促すための機能。市民交流・文化交流を促す機能。行政情報の発信・提供・収集機能。
14	5		2	13		20	評価できない	A案優位	全ての項目で優劣は付けられなかったが、市民局を除き、可能な限り集中することが好ましく、相対的にA案が望ましい。
15	1	10	8		1	20	B案優位		
16	20					20	A案優位		
17	5				15	20	A案優位		
18		6	11	3		20	差なし	分散配置	丹後庁舎、ら・ぽーと、久美浜庁舎を加え、地域分散型行政を目指した方が、各町域の活性化につながる。将来の人口を踏まえた、職員数を予測すべきである。職員駐車場が遠い。
19	1		7	12		20	評価できない	現状維持	コロナ禍の状況にあり、今後のことも含め集約化する時期ではない。ICTを整備し、密を避け、市民局窓口と本庁職員と対話等ができるようにする。将来的に庁舎を含めたまちづくりをする。
20	1	1	18			20	差なし	現状維持	庁舎は現状の配置で十分持続可能である。特に不便なく、市民局での対応を充実すべき。本庁機能集約化は、行政組織の効率化がメインで、市民の利便性はあまり感じられない。下水道事業など重要案件に予算を重点投入し、庁舎整備は後回しでよい。
計	155	46	125	48	26	400			

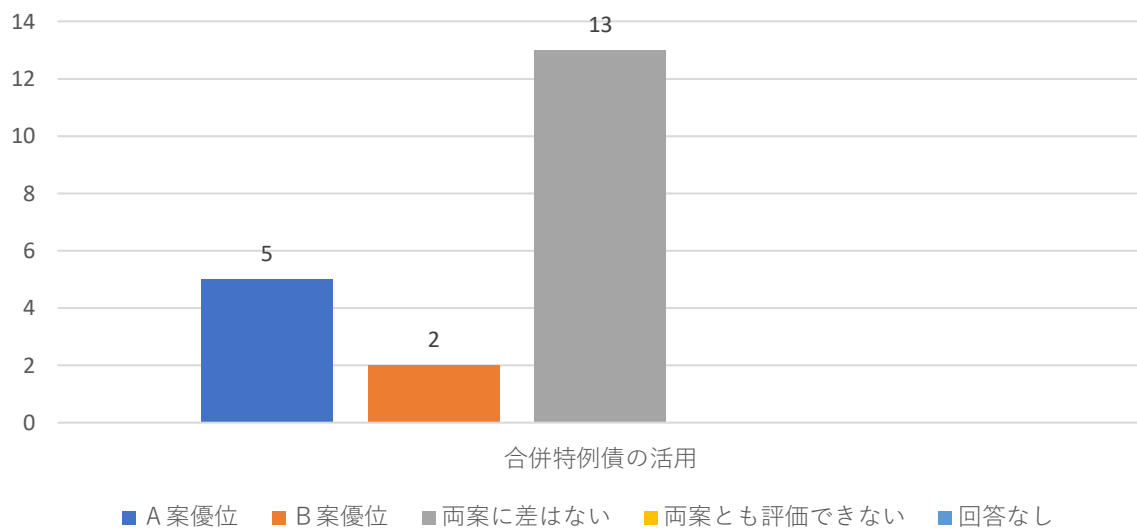
◆委員評価(項目集計)



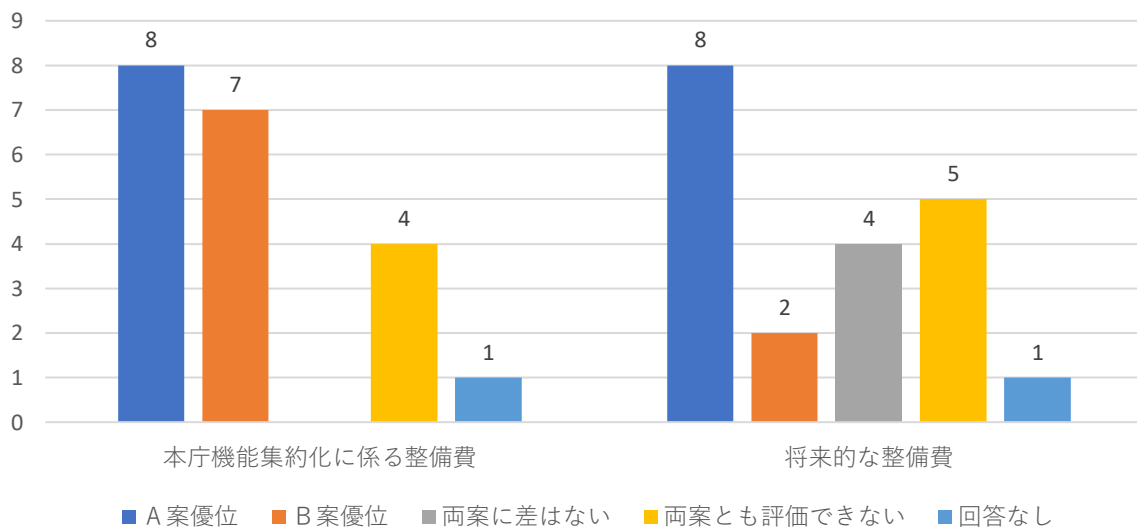
④行政の効率的な運営

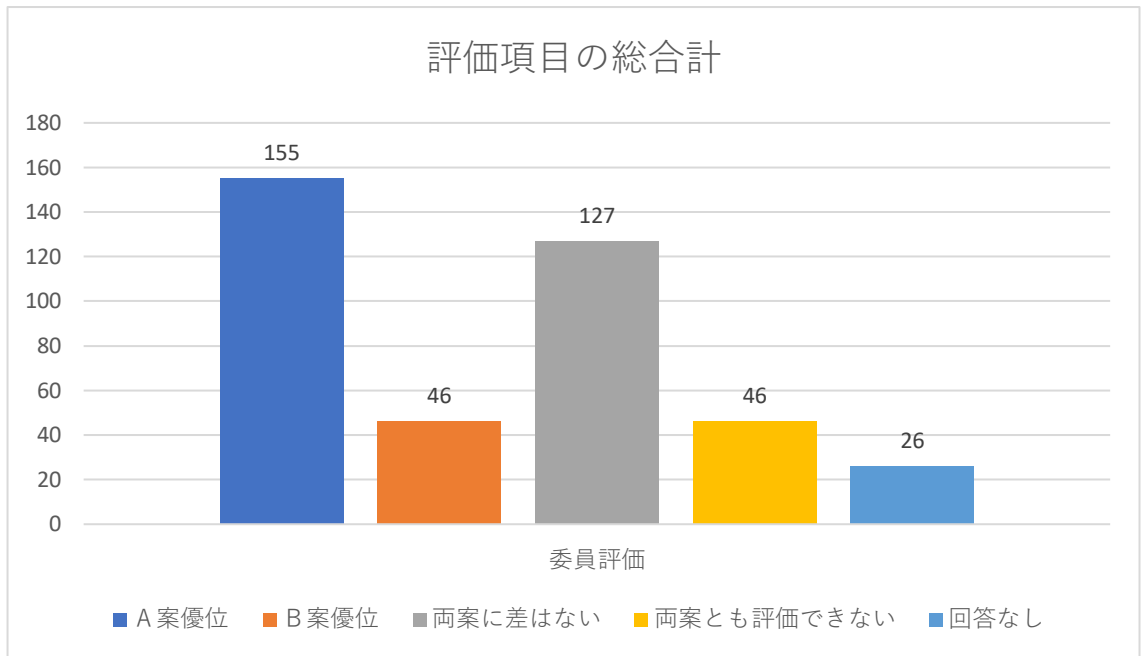


⑤資金計画



⑥整備費





◆重視する項目

